

示 談 書

〇〇〇〇(以下甲という)及び△△△△(以下乙という)は、婚約破棄について、甲が乙に慰謝料を求めた件(以下「本件」という。)について、以下のとおり合意する。

【謝罪文言を入れたい場合】

第1条(謝罪)

乙は甲に対して、乙が甲との婚約を破棄したことについて真摯に謝罪する。

第2条(慰謝料)

乙は甲に対し、慰謝料として、金●万円の支払義務のあることを認める。

第3条(支払い方法)

乙は、前条の金員を●年●月●日限り、甲の指定する次の口座に振込んで支払う。

振込手数料は乙の負担とする。

金融機関名: ●●銀行●●支店

口座番号: ●●●●

種別: 普通

名義人: 〇〇〇〇

【分割払いの場合】

1 乙は、前条の金員を分割して●年●月から●年●月までの間、毎月末日限り、月額●万円を甲の指定する次の口座に振込んで支払う。振込手数料は乙の負担とする。

(略)

2 乙が前条の支払いを2回以上怠った場合には、当然に期限の利益を喪失し、乙は、甲に対し、直ちに第2条の金員から前項の既払い金を控除した残額を返済しなければならない。この場合、乙は、期限の利益喪失日の翌日から支払済みまで、残額に対して年●パーセントの遅延損害金を付して支払う。

【口外禁止を合意したい場合】

第4条(口外禁止)

甲及び乙は、本示談書の有無及び内容について、理由の如何を問わず、第三者に対して一切口外しないことを約束する。

第5条(精算条項)

甲及び乙は、本件に関し、以上をもってすべて解決したものとし、本条項に定めるほか、甲乙間に何らの債権債務のないことを相互に確認する。

以上の合意成立を証するため、本書2通を作成し、甲乙が署名捺印の上、各自1通を保有する。

○年○月○

日

(甲)住所:

氏名: 印

(乙)住所:

氏名: 印

この書式はサンプルです。

適切な内容は個別具体的な事案により異なるため、あくまで参考程度にとどめ、専門家のサポートを受けるようにしてください。